

色からつくる魅力的な景観

京都市立芸術大学

藤本 英子

1 景観行政団体における色彩基準の動向

- 景観行政団体数 406 (7月1日現在)
- 景観計画制定数 177 (7月1日現在)
- 都道府県 重点的に取り組むエリア以外は、数値のない文での基準を置く 例：関西文化学術研究都市／天橋立周辺地区
- 市町村 都市では全エリアを景観計画地域として数値基準を置く
その他の市町村では、重要なエリアを設けて数値基準を置く

2 色彩基準の捉え方

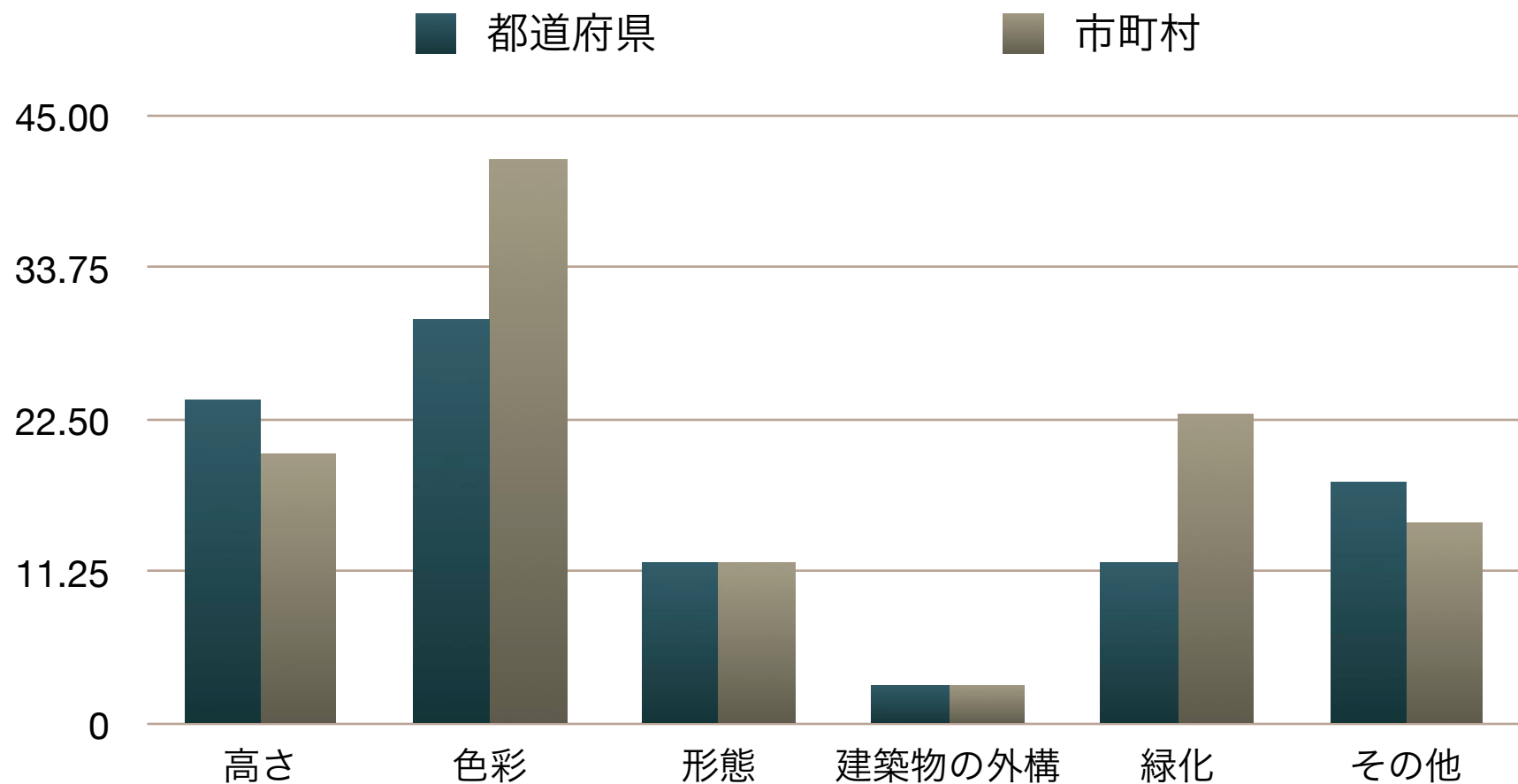
- 景観規制は マイナス ではなく
景観規制を プラス に捉えて
- 皆同じ条件のもとのコントロールで 周辺との調和を図り合う
- 基準の意味を理解する 明度 彩度 の基準が伝えるもの
- 形状に相応しい色彩設計
- デザイン力で差をつける

3 景観法施行以前の問題点

- 全国景観アンケートから
- ガイドラインによる指導の限界
- 大規模届け出制度におけるアドバイス事例から
高彩度／低明度／色彩の氾濫

全国景観アンケートから…景観法制定直前の2004年

景観行政を行う際に一番重視していること (%)



大規模届け出制度における事例から

- 堺市
- 吹田市
- 豊中市
- 大阪市

4 色の基本 (マンセル表色値)

- 色相 色味を表す 数字と記号
- 明度 明るさを表す 数字 0黒～10白
- 彩度 鮮やかさを表す 0無彩色～高い数値が高彩度

京都市 禁止色

色相	彩 度
R YR	6を超えるもの
Y	4を超えるもの
その他	2を超えるもの

自然素材（石、土、木材、レンガ）及び伝統的建築物等に
用いられている素材については使用できる

5 問題事例より

- 高彩度の大壁面
- 明度差の大きい組み合わせ
- 背景から突出する高明度
- 色相差の大きい組み合わせ（補色関係）
- 多色相の氾濫
- うつり込み

6 色彩の活用

- 色彩で調和をつくり出す
- 地域の特徴を色で活かす
- 目立たせないために色を活用する
- 目立たせるために色を活用する

7 魅力的な景観とは

- 調和がはかられている
- 地域特性（自然、風土、歴史、文化）を活かした地域性がある
- 緑化、オープンスペースによる潤い、ゆとりがある
- 良好な維持管理がされている
- 住民参加で親しみと誇りのある景観づくりがすすめられている
- 活力が生み出されている
- 優れたデザインで新たな魅力がつけられている

ありがとうございました